

1 法人の概要

代表者職氏名	代表取締役社長 栗津 尚悦	所管部課名	観光文化スポーツ部観光戦略課
所在地	横手市赤坂字富ヶ沢62-46	設立年月日	平成5年5月18日
電話番号	0182-33-8800	ウェブサイト	http://www.akitafurusatomura.co.jp
主な出資 (出捐)者	出資(出捐)者名		出資(出捐)額(千円)
	秋田県		250,000
	横手市		54,000
	羽後交通(株)		50,000
	その他3市町村、26団体		141,000
	合計		495,000
設立目的	本県の文化遺産の継承、新たな郷土文化の創造拠点として、この二つの機能を十分に生かし相乗効果による県民文化の向上と地域産業の振興を図ることを目的に県等の出資により設立。		
事業概要	秋田ふるさと村の管理運営		
事業に関連する法令、県計画	なし		

2 平成30年度事業実績

各種イベントや県立近代美術館の企画展が好評だったことに加え、年間を通じて好天に恵まれたこともあって、昨年の57万6千人を大きく上回る約65万5千人の来場者を記録した。また、自動車型連結バス「チューチュートレイン」に替わり、「マックストレインノブくん号」が運行を開始したほか、健康寿命延伸を目的とする受託イベントや閑散期の施設を有効に活用したウォーキング事業を実施し、注目度の高いマックストレインもネーミングや一部デザインを公募するなど、参加型事業を展開した。

＜事業目標＞

項 目	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
自主事業収入(千円)	目標	313,435	299,523	318,013	317,483
	実績	306,545	301,352	348,687	—
入村者数(人)	目標	630,000	610,000	610,000	610,000
	実績	575,757	576,857	655,495	—
顧客満足度指数	目標	82	84	83	82
	実績	85	82	81	—

3 組織

①役員数(R1.7.1現在)

区 分	(単位:人)				役員報酬
	H30	R1	H30	R1	
常勤	1	1			支給対象者 (H30年度) 2 人
内、県退職者	1	1			
内、県職員					
非常勤	7	7	1	1	平均年齢 63 歳
内、県退職者					
内、県職員	1	1			
計	8	8	1	1	平均報酬年額 (H30年度) 2,950 千円
内、県関係者	2	2			

②職員数(H31.4.1現在)

区 分	H30	R1	正職員
正職員	21	19	
内、県退職者			平均年齢 44 歳
出向職員			
内、県職員			平均勤続年数 17.0 年
臨時・嘱託	13	13	
内、県退職者			平均年収 (H30年度) 3,822 千円
計	34	32	
内、県関係者			

③取締役会回数

平成29年度	5	平成30年度	5
--------	---	--------	---

4 財務

①損益計算書

区 分	平成29年度	平成30年度
売上高	517,604	596,654
売上原価	294,295	347,679
売上総利益	223,309	248,975
販売費及び一般管理費	216,299	232,768
人件費(売上原価含む)	119,009	129,443
営業利益(損失)	7,010	16,207
営業外収益	557	1,601
営業外費用	6	
経常利益(損失)	7,561	17,808
特別利益	3,795	5,678
特別損失		24
法人税、住民税・事業税	5,840	9,649
当期純利益(損失)	5,516	13,813

②貸借対照表

区 分	平成29年度	平成30年度
流動資産	658,380	676,333
固定資産	26,636	23,418
資産計	685,016	699,751
流動負債	82,190	84,700
短期借入金		
固定負債	18,817	17,229
長期借入金		
負債計	101,007	101,929
資本金	495,000	495,000
利益剰余金等	89,009	102,822
純資産計	584,009	597,822
負債・純資産計	685,016	699,751

＜主な経営指標＞

項 目	算 式	平成29年度	平成30年度	増減※
経常収支比率	経常収益÷経常費用×100	101.5%	103.1%	1.6
流動比率	流動資産÷流動負債×100	801.0%	798.5%	△ 2.5
自己資本比率	純資産計÷負債・純資産計×100	85.3%	85.4%	0.2
有利子負債比率	有利子負債÷純資産計×100	0.0%	0.0%	0.0

※端数処理の関係で増減が一致しないことがある。

5 県の財政的関与の状況

区 分	平成29年度	平成30年度	支出目的・対象事業概要等
年間支出			
補助金			
委託費	57,196	89,679	近代美術館維持管理業務委託、地域の魅力発信事業等、健康ハッピー！いきいきライフフェスタ、秋田ふるさと村ウォーキング事業、自動車型連結バス更新事業
指定管理料	158,288	158,288	秋田ふるさと村指定管理料
貸付金			
損失補償			
その他の財政支出(基金等)			

I 自己評価

1 公共的役割	2 組織体制	3 事業実施	4 財務状況
B 秋田の観光文化の拠点として、多様な媒体による秋田の魅力発信、食・祭り・伝統芸能を含む様々なイベントの展開等により、県内外からH24以降では最多の655千人が来場した。	B 取締役会は年5回開催。常勤の社長・執行役員のもと3部体制としつつ、重要課題についてはプロジェクトチームを設けるなど横断的体制も導入。特殊部門については高齢者等の技能保持者も有効活用した。	A 更新した自動車型連結バスを含め有料施設の魅力発信に努めたほか、GWや夏・冬・春のロングランイベントの訴求力を高めるとともに、企画持込型営業を強化し新規貸館も獲得するなどして、大幅な集客アップにつなげた。	A 19年連続の黒字となり、特にH30は集客の大幅アップ等により前年度の2.5倍となる黒字を計上した。

II 所管課評価

1 公共的役割	2 組織体制	3 事業実施	4 財務状況
B 県関与の縮小に位置づけられている法人であるが、秋田の観光文化の拠点として、県等と連携事業を行うなど、一定の公共的役割を担っている。	B 取締役会は5回開催されており、法定回数を満たしている。また、常勤役員及び執行役員が正職員とともに法人運営や事業実施を的確に実行できる体制となっている。	A 顧客満足度指数については目標を若干下回ったものの、多様な魅力ある企画の実施により、入村者数及び自主事業収入は目標を大きく上回った。	A 単年度の経常損益が黒字であり、累積損失もないことからA評価とする。

III 外部専門家のコメント

来場者数が昨年を大きく上回ったことにより、営業収入は大幅に増加した。売上原価や販管費も同様に増えているが、営業利益及び当期利益はともに増益となっている。その結果今期は利益剰余金が1億円の大台を超え、自己資本比率も85.4%とさらに高い水準となった。流動比率も高く、財務基盤も安定しているといえる。(※賞与引当金の会計処理について、前年度に引当計上した金額を当年度に全額特別利益に戻し入れするという方法を採用しているため、每期大きな特別利益が計上されることになってしまう。財務諸表の読者に誤解を与える可能性があるため、修正することが望ましい)

IV 委員会評価

1 公共的役割	2 組織体制	3 事業実施	4 財務状況
B 三セクの行動計画上は「県が直接民間企業に委託することが可能な事業を主たる事業としている法人」に位置づけられているが、県や周辺市町との連携事業を行うなど、一定の公共的役割を担っている。	B 常勤の役職員がおり、組織体制は整っている。今後も、充て職役員の適切な関与が期待される。	A 顧客満足度指数は目標をわずかに下回ったが、自主事業収入及び入村者数は目標を大きく上回った。引き続き、入場者数の確保や満足度向上に向けた取組が期待される。	A 毎年度、経常黒字を確保しており、累積損失もない。剰余金も多額にあり財務基盤は安定している。

V 前年度委員会評価

1 公共的役割	B	2 組織体制	B	3 事業実施	B	4 財務状況	A
評価結果を受けて実施した経営健全化に向けた取組（概要） 施設の有効活用等を視点とした経営改善の取り組みを進めたほか、人気イベントのグレードアップや更新したアトラクションの魅力発信、電子マネー決済の導入、近代美術館内のサイン掲示による誘引等を行い、サービスの向上や入場者数の確保に努めた。							